

第 3 期市民活動促進計画進捗状況について【令和 3 年度（2021 年度）】

1 - 1 誰もが市民活動情報にふれることができる情報の発信

(1) 市民活動情報の収集・整理

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和 3 年度の実績	進捗評価
市民活動情報データベース化	市民活動にかかわる情報を収集し、データベース化する。	市民活躍支援課	公共施設予約システムを新たに導入し、会議やイベント、各種活動に利用できる公共施設を直接予約できるようになった。 市民活動情報サイトを令和 4 年度にリニューアルする際、市民活動情報にアクセスしやすいサイトを検討する。	B

(2) 効果的な市民活動情報の発信

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和 3 年度の実績	進捗評価
広報紙「つなぐ」発行	とよた市民活動センターの広報紙を発行する。	市民活躍支援課	奇数月に広報紙「つなぐ」を発行し、市民活動情報やセンター事業に関する情報を発信した。	B
市民活動センターホームページ	市民活動センターホームページに市民活動情報を掲載し、プラットフォーム化する。	市民活躍支援課	市民活動情報サイトを令和 4 年度にリニューアルする際、市民活動情報にアクセスしやすいサイトを検討する。	B
退職予定者への情報発信	企業の退職予定者説明会等を利用して市民活動情報を発信する。	市民活躍支援課	リーフレットをシニアアカデミーの受講生や関係施設に配布し、シニア世代のセカンドライフ支援を行った。	B
広報力向上セミナーの開催	市民活動団体を対象とした広報セミナーを開催する。	市民活躍支援課	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 3 年度は未実施。	E
フェイスブック事業	フェイスブックを活用して効果的な市民活動情報を発信する。	市民活躍支援課	フェイスブックは令和元年度で終了し、市民活動情報サイトに一元化している。	B
キュレーションアプリケーションにおける市民活動情報提供	キュレーションアプリケーションソフトを活用し、それぞれの興味・関心に合った市民活動情報を提供する。	経営戦略課	行政情報は既に市 HP 等で発信されておりアプリへの情報掲載は行っていないが、民間事業者の業務に関する情報発信ツールとして活用されている。	B
市民が発信し交流するプラットフォームづくり事業	Webサイトの運営や交流会・イベントの開催を通じて、市民の活動やアイデアを市民自ら発信できたり、そこから幅広い市民や団体がつながる場づくりを推進する。	経営戦略課	市民等で作り上げる「WE LOVE とよたフェスタ」をコロナ感染症対策を実施しながら開催し、それに伴う実行委員会、出展者の説明会、出展者同士の交流を行う前夜祭などを通して交流を図った。	B

【2021】 1-1 進捗評価 A・B 7/8(88%)

1 - 2 誰もが市民活動に参加できる機会の提供

(1) 市民活動を体験できる機会の提供

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和 3 年度の実績	進捗評価
市民活動見学・体験事業	複数の市民活動現場を見学できる 1 日見学会や、実際に体験できる 1 日体験会を開催する。	市民活躍支援課	「つながる博」(令和 3 年 8 月から 10 月)を開催。97 プログラムに 1,758 人が申込みし、市民活動を気軽に体験できる場を提供した。	B
市民活動インターン事業	高校生・大学生を対象とした、市民活動団体等での 1 週間程度の市民活動体験を実施する。	市民活躍支援課	新型コロナウイルスの状況を鑑みてインターンは出来ない状況であった。	E
高齢者の活躍支援事業	高齢者の市民活動を促進するため、学び・相談・情報提供等の支援を実施する。	市民活躍支援課	学びをきっかけとした市民活動・地域活動の実践を行い、活動支援の充実を図った。社会課題や地域課題等に専門的に学ぶ内容として、保育補助員と新たに福祉のお仕事を新設した。 <参加者数> 通年コース 86 人 (3 学科) 専門コース 20 人(2 コース) はじめの一步講座 123 人	B

事業名	内容	担当課	令和3年度の実績	進捗評価
女性の市民活動参画促進事業	結婚や出産を機に活動していない女性が、市民活動への参画も選択肢のひとつとして、自身のライフプランやキャリア形成について考えるための相談や講座・セミナーを実施する。	市民活躍支援課	女性のためのマインドアップセミナーCoco+、Coco+キャリアを年間26講座実施し、延べ229人が受講した。 主に子育て等で離職中の女性を対象に女性のための学びとつながりの場の提供、自分らしい生き方の選択をするための意識の醸成を目的に実施した。	B
市民活動センターホームページ (再掲1-1)	市民活動センターホームページに社会課題についての情報を掲載する。	市民活躍支援課	令和4年度に市民活動情報サイトをリニューアルする際に掲載内容を検討する。	B
豊田市地球市民会議	豊田市に在住、在勤又は在学する外国人市民が、生活するうえでの諸問題や、市の施策に対する意見や提案について話し合い、課題解決に向けた活動ができる場として豊田市地球市民会議を開催する。	国際まちづくり推進課	令和3年度はこれまでの「地球市民会議」を発展させ、外国人のコミュニティづくりやネットワーク強化、日本人との交流促進に向けた外国人グループの活動支援に注力した。地球市民会議のメンバー（インドネシア、フィリピン出身者）が中心となって文化交流イベントを開催した。 ・「インドネシアデー@とよた」 日程：11月20日、21日、参加者：約700人 ・「フィリピンスタイル クリスマスキャロル2021 in とよた」 日程：12月11日、参加者：約110人	B
市民によるアートプロジェクト推進事業	市民が運営する文化芸術に関するプロジェクトを推進し、文化事業に関わりながら地域に貢献できる体制や活動の場を構築する。	文化振興課	●市民参加型のアートイベントの開催 「とよたまちなか芸術祭」/2021年12月 まちなかの協力店舗6か所、緑陰ギャラリー、図書館等 アートサポーター出身のコーディネーター4名と公募による「とよたまちなカラボ研修生」11名を中心に、昨年度より規模を拡大したアートイベントを創り上げた（出展者数：60組55人、ゲスト4組/来場者数：4,785人） ●アートに触れる機会の実証（移動型拠点）を実施 「ぷらっとアートセンター」/豊田市内各所（6回・6か所） 豊田市内の文化スポットや活動者、イベントをアートサポーターとともに訪問し、新たな交流や出会いのきっかけを創出（交流人数：113人） ●豊田独自の文化事業の集約・発信 「TAP magazine」 市民ライターとの運営体制を継続（掲載記事数：85件、リーチ数：24,297回/市民ライター：4名） ※市民アートプロジェクトメンバー登録数（201人）	B

(2) 社会課題に気づく場の提供

※進捗評価：A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和3年度の実績	進捗評価
市民交流カフェの開催	世代や性別、職種などジャンルを超えた多様な価値観を持つ人が気軽に来て気軽に語り合えたり、活動者から直接話を聞ける場や、社会課題に自然と気がつく場を提供するため、「市民交流カフェ」を開催する。	市民活躍支援課	平成30年度より、ペDESTリアンデッキ広場にて団体活動を実施してもらい、通行する市民の目に触れる機会を提供し、活動を見せる化している。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 <参考> 申込：2団体（緊急事態宣言発令に伴い中止）	E
とよた森林学校事業	山に入り間伐ができる人材と森林・林業を理解・支援する森の応援団を育成する講座を実施する。	森林課	年間を通して全8講座（延べ20日）開催し、97人（延べ216人）が参加した。	B
市民が発信し交流するプラットフォームづくり事業 (再掲1-1)	※1-1(2)掲載済	経営戦略課	※1-1(2)掲載済	B

[2021] 1-2 進捗評価 A・B 8/10(80%)

2-1 市民活動を始めやすい環境の整備

(1) 活動を始めるための支援事業の充実

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和3年度の実績	進捗評価
市民活動相談事業	市民活動に関する多様な相談に対応する。また、活動場所としての施設を提供する。	市民活躍支援課	新しく活動を始める方、市民活動団体等からの組織立上げや運営、会計等に関する相談を受け、専門家につなげる相談会を実施した。 NPO 運営相談会：10 件 会計税務相談会：3 件	B
高齢者の活躍支援事業(再掲1-2)	※1-2(1)掲載済	市民活躍支援課	※1-2(1)掲載済	B
環境学習施設エコット学習事業	環境学習施設エコットの展示解説や環境に関する講座の開催を行う市民ボランティア(インタープリター)を育成し、活動の機会を提供する。	環境政策課	3回の育成講座を実施するとともに、来館者及び工場の案内研修を4回実施して、10人(うち1人は事務局スタッフ)のボランティア(第16期インタープリター)の育成を図った。	B
自然観察の森ボランティア活動支援事業	自然観察の森で活動するボランティアグループへの参加を希望する市民向けにボランティア養成講座を開催する。	環境政策課	森の自然案内人養成講座3回(参加者7人、登録者2人)、調査ボランティア養成講座1回(参加者1人、登録者1人)実施した。	B
とよた森林学校事業(再掲1-2)	※1-2(1)掲載済	森林課	※1-2(1)掲載済	B
交流コーディネート事業	おいでん・さんそんセンターにより、都市部と山村部の課題に対して活動を始めたい人の相談対応をするとともに、地域組織や活動団体、企業などの交流や活動のコーディネートを実施する。	企画課	・コーディネート件数47件の実績であった。※年度目標値は概ね50件 ・主な内容は、企業・労組を対象としたCSR事業のマッチング25件、共同作業の実施が困難な小規模高齢化集落へのボランティア派遣6件、ミライの職業訓練校などの生業創出16件の実績があった。	B
外国人のためのガイドボランティア育成事業	来訪外国人のおもてなしのために、豊田市の魅力や文化等を英語で案内できる市民ボランティアの育成をする。	国際まちづくり推進課	新型コロナウイルス感染症対策の影響により活動なし。 次年度に向けて事業内容の検討を実施。	E
わくわく事業	地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助する。	地域支援課	253事業(うち新規47事業)を補助し、地域住民が主体的に地域の課題解決に取り組む事業を支援した。	B
市民によるアートプロジェクト推進事業(再掲1-2)	※1-2(1)掲載済	文化振興課	※1-2(1)掲載済	B
とよたデカスプロジェクト	アートを通じて豊田市の魅力を市内外へ発信するため、市民が考えたアートプロジェクトの企画の実施を支援する。	文化振興課	・応募数 31件 ・採択事業 14件 ※デカスコース12件と、プチデカスコース2件を採択。豊田国際紙フォーラムとの連携企画として「紙デカスオプション」(4件)を設けた。 ・参加者数(オンライン視聴者含む) 4,477人 ・コロナ禍においても、企画者が自ら考え、創意工夫を凝らしながらアートプロジェクトに取り組むことをしっかり支援した。	B
地域猫活動支援事業	野良猫の苦情や殺処分数を削減するため、地域猫活動を推進するとともに、活動者への支援として、飼い主のいない猫の避妊去勢手術を無料で実施する。	保健衛生課	支援実施地域は224地域、手術実施頭数は364頭であり、前年度(204地域、587頭)と比較し、実施地域は増加し、手術実施頭数は減少した。年度を通して地域猫活動の周知、支援を実施した。	B
犬猫の一時預かりボランティアの育成及び共働事業	動物愛護センターに収容された犬・猫のうち譲渡可能な犬・猫の数を増やすことにより殺処分数を削減するため、収容された犬・猫を自宅等で一時飼養するボランティアを育成し、ボランティアに犬・猫を預託する。	保健衛生課	猫の一時預かりボランティア養成講座は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら2回開催した。登録ボランティア数は45人に増加した。(前年度34人)	B

事業名	内容	担当課	令和3年度の実績	進捗評価
動物愛護ボランティアの育成及び共働事業	一般市民への動物愛護意識の普及と市民の生きがいづくりを推進するため、動物愛護ボランティア養成講座を行いボランティアを育成し、ボランティアとの共働により動物愛護教室等を実施し動物愛護意識の普及を図る。	保健衛生課	動物愛護ボランティア養成講座及びボランティアとの共働による動物愛護教室等は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら開催した。	B
歴史学習推進事業	郷土の歴史や文化財を子どもたちに伝えるために市民や学校との連携を強化し、市民が自ら学び、市民や来訪者に伝える活動を促進する。	文化財課	<ul style="list-style-type: none"> ・とよた歴史マイスターの認定・活動の支援(認定延 72 人・参加活動延 132 人) ・郷土学習スクールサポートの実施(利用延人数 20, 181 人、利用延学校数 241 校) ・歌舞伎伝承館での講座開催(4 件 115 人) ・博物館周知事業(企画展「スペイン風邪とコロナウイルス」開催(来館者数 4,236 人)、イベント開催3回延 1,051 人) 	B
地域学校共働本部設置拡大、コミュニティ・スクール推進事業	地域と学校が連携・共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく地域学校共働本部を各小・中学校に設置し、中学校区単位で、小・中学校の連携と地域ぐるみの教育を効果的に実施するコミュニティ・スクールの導入を促進する。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーター研修会を動画配信で行った。 ・コミュニティ・スクール推進委員会を年4回開催し、リーフレットやポスターを作成してコミュニティ・スクールの推進をはかった。 	B

(2) 利用しやすい活動場所の提供

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和3年度の実績	進捗評価
まちなか広場空間活用推進事業	既存の公共空間を利用して、市民が主体となった賑わいづくりを推進するとともに、将来のまちなか広場の活用アイデアや担い手を発掘・育成する。	商業観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・感染リスクの低い屋外イベント会場ということで新規利用者は増加した。 ・一方で前年度事業よりは回復傾向にあるものの事業は停滞ぎみであった。 ・ペDESTリアンデッキ広場を都市再生推進法人が運営した。 	B
とよたまちさとミライ塾事業	地域資源を活用した体験プログラムを集めた「とよたまちさとミライ塾」を通じて、観光の産業化を担う人材を発掘し、育成する。	商業観光課	令和元年度で事業終了。令和2年度以降は民間に移行し、「とよたまちさとミライ塾プラス」として実施中。	B

【2021】 2-1 進捗評価 A・B 16/17(94%)

3-1 組織力強化を支援する仕組みの整備

(1) 人材や運営に関する支援策の充実

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和3年度の実績	進捗評価
運営力向上支援事業	組織運営に関する各種セミナーを開催する。また、プロボノを活用した組織運営の支援や活動現場に出向いた支援をする。	市民活躍支援課	市民活動団体等への支援を行う相談事業を実施した。 相談件数：79件 また、NPO マネジメントに関するセミナーを開催した。 参加者数：100人 プロボノシナジープロジェクトを実施した。 団体：4団体 プロボノ：15人	B
森林ボランティア始動支援事業	森林の整備を目的とした団体による自主的な活動に補助することにより、荒廃した人工林・里山林の再生、保全を図る。	森林課	結成後2年以内の1団体が20日間(延べ67人)森林整備に従事し、0.3haの間伐を実施した。	B
自主防犯活動支援事業	地域防犯リーダーの育成や研修会の開催等により、自主防犯活動団体の活動を支援する。	交通安全防犯課	・地域防犯ボランティア・ステップアップ講座の開催(8~10月4回)従来通りの都心部での開催に加え、山村地域の会場でも開催することで、より多くの地域で活動する市民に受講しやすい環境を整えた。 ・自主防犯活動用物品や自主研修会の講師料等の支援を実施。	B
動物愛護ボランティアの育成及び共働事業(再掲2-1)	※2-1(1)掲載済	保健衛生課	※2-1(1)掲載済	B

(2) 資金確保に関する支援策の拡充

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和3年度の実績	進捗評価
活動資金支援事業	資金調達手法に関する各種セミナーを開催する。また、市民活動促進補助金事業を実施する。	市民活躍支援課	豊田市内で活動する市民活動団体の資金支援として市民活動促進補助金を交付した。 交付団体：6団体	B

【2021】3-1 進捗評価 A・B 5/5(100%)

3-2 効果的な課題解決に向けた多様な主体の共働の仕組みづくり

(1) 多様な主体の交流の場づくり

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和3年度の実績	進捗評価
市民活動交流事業	多様な主体を対象とした意見交換会等の交流できる機会を提供する。	市民活躍支援課	とよた市民活動センター設立20周年を記念したフェスタをオンラインで開催し、意見交換を行った。 参加者数:34人 ・共働促進交流会（manappo）の検証（平成30年度・令和元年度）と令和4年度における「多様な主体による交流会」実施に向けた調整（未来都市推進課・市民活動センターでの3者連携）	B
まちなか広場空間活用推進事業（再掲2-1）	※2-1（2）掲載済	商業観光課	※2-1（2）掲載済	B
とよたまちさとミライ塾事業（再掲2-1）	※2-1（2）掲載済	商業観光課	※2-1（2）掲載済	B
市民が発信し交流するプラットフォームづくり（再掲1-1、2）	※1-1（2）掲載済	経営戦略課	※1-1（2）掲載済	B

(2) 多様な主体の連携を促進するためのコーディネート機能の充実

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和3年度の実績	進捗評価
共働活性化対策事業	市民活動主体の事業提案を共働で事業実施するための制度の運用、研修を実施する。	市民活躍支援課	<職員研修> 新規職員研修 参加者：50人 パートナーシップ研修（採用4・5年目）：102人 共働推進担当者・責任者研修 参加者：272人 <共働事業提案制度> エントリー・採択実績なし <その他> ・庁内向けに「行政と多様な主体との共働実績調査」を実施。（179件を把握）	B
交流コーディネート事業（再掲2-1）	※2-1（1）掲載済	企画課	※2-1（1）掲載済	B
共生型サービスの構築	対象を限定せず、高齢者や障がい者、子ども等、誰もが共に過ごすことができる身近な居場所づくりをNPO法人や社会福祉法人、市民等を巻き込みながら進める。	地域包括ケア企画課 介護保険課 障がい福祉課	これまでの情報提供の結果、豊田市地域医療介護総合確保補助金の「共生型サービス事業所の整備推進事業」を1事業所が活用し、必要な設備整備に要する経費を支援したことにより、障がい者や障がい児と交流することにより高齢者が地域において自立した日常生活を営むことができる環境が整備された。	A
子どもの学習支援事業	経済的に学習の機会に恵まれない子どもたちに対し、ボランティア等による集合型学習支援を実施する。	福祉総合相談課	経済的理由等により学習環境が整っていない子どもに対し、市内6か所にて集合型学習支援・市内2か所にて訪問型学習支援を実施。また、学習機会の提供だけでなく、生活習慣の形成・改善等家庭全体への支援も行った。 ・利用者（集合型）：114名 ・利用者（訪問型）：14名 ・総実施回数（集合型）：267回 ・総実施回数（訪問型）：348回	B

【2021】3-2 進捗評価 A・B 8/8(100%)